2014-2015 年度今治ロータリークラブ週報 No.44

第 ４４ 回 例 会 報 告（6月４日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５３名　・出席数　３５名　・欠席数　１８名
・当日出席率　７５．５５％　・前々回修正出席率　８９．８０％
＜欠席会員＞原、檜垣(俊)、檜垣(直)、菅、冠、木村、桑森、森岡、佐伯、竹田、吉田
〔免除会員〕青野(明)、原田、檜垣(巧)、川上、光藤、宮本、白石
<5/21 欠席補填>(5/19 今治南)冠、木村、村上(裕)、吉田　(5/20 ライラ)阿部　(5/21 新居浜)檜垣(俊)、吉良、河野、桑森、田中、渡辺、矢野、山本、

◇サチン・アショークさんスピーチ・氏にあたるのがボホール、名にあたるのがサチン、そしてアショークは父の名前です。

◇会長報告・西本信保会員に新入会員紹介のお礼が届きました。

◇幹事報告・松山西 RC50 周年記念式典に参加して参りました。須之内 PG や地区初の女性会員を輩出したクラブですが、梅津寺がなくなったこともあって微減傾向だそうです。

◇親睦活動委員会・誕生日スピーチ・矢野暢生会員：明日で 63 歳になります。先週の土日、東京六大学野球の早慶戦を応援に行きました。懇意にしている後輩が監督の早稲田が勝ってリーグ優勝。満員の神宮球場に懐かしさを覚えましたが、年も感じました。投げていたのは 40 年ちょっと前。人生で一番輝いていたのは 20 代前半だったのかな、と。余生がどれだけあるかわかりませんが、もう一度何かで輝いてみたいと思います。▼平田勝豪会員：39 歳になりました。30 代でやっておきたいこととして、南大門町にまもなく開業します。365 日診療を掲げ、エクササイズルームや会議室を設けるつもりです。専門職を置いて 1 日 6～8 時間、プログラムを組んでトレーニングや勉強を学校に通えない子どもたちに受けさせようと思います。

小さな奉仕賞の表彰

◆村上裕一社会奉仕委員長:歴史を紐解くと1991-92年度に今治RCの全体事業の一環として設けた賞です。今年で24回目。歴史あるクラブとしては比較的新しい賞ですが、目に見えない奉仕、縁の下の力持ち的な陰の奉仕をする団体や個人を表彰する、それこそ超我の奉仕につながるいい制度だと思います。

◆手話サークル「ひだまり」 会長　岩永裕子様:平成19年度に菊間で行われた社会福祉協議会の手話講座で集まった仲間と別れるのが寂しい、日だまりの井戸端で聾者も健常者もなく誰とでも会話できるようなサークルにしたい、と名付けました。3歳のときに事故で耳が聞こえなくなった講師の山崎さんを中心に5～6人、多いときで10人、ご夫婦も2組が活動しています。▼活動は主に第2土曜と第4土曜。第2土曜は聾者のグループをお招きして本物の手話を聞き取り、身振り手振り、時には筆談も交えて交流し、第4土曜はサークル員のみでDVDを参考に手話の表現を勉強しています。お花見やクリスマスなど、季節ごとのイベントも行ってきました。交流を進める中で、聾者と我々の文化の違いにも気づきました。例えば「まあまあ」というのは我々は普通より少し劣る、と感じますが、聾者は逆に普通よりちょっといい、と感じるようです。▼第2金曜に行う亀岡保育園の手話ボランティアも今年で6年目になりました。卒園した子どもたちからは今も「手話のおばちゃん」と声を掛けられます。子どもたちは手話ソングや指文字など、1年で覚えてしまいます。また、デイサービスや菊間町で行う福祉フェアでは手話だけでなくフラダンスや手品など、いろんな出し物をしてきました。ここでも利用者やヘルパーの方たちとの交流会を楽しんでいます。▼合同防災訓練にも参加しましたが、そこでは地域の中で助け合える仕組みが必要だと痛感しました。聾者がスムーズに行動するにはふだんからの交流が必要で、それこそ井戸端会議が必要なのではないでしょうか。これからも地域の中で自分たちのできるボランティア活動を続けていきたいと思います。本日はありがとうございました。

＜ゲスト＞米山記念奨学生　ボホール・サチン・アショーク様
手話サークル「ひだまり」　会長　岩永裕子様、　今治市社会福祉協議会地域福祉課　白石順也様

次 回 例 会（6月１１日）

【　実行委員会報告　】

＜会員誕生日祝＞　佐伯　和信氏（6/13）
＜配偶者誕生祝＞　吉良　敏彦氏（6/16）

〔　笹　〕